

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている画像を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている画像を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

研究課題名	Deep learning-based noise reduction 法を用いた心筋遅延造影 CT の画質及び臨床的有用性についての検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	放射線科 医員 小林祐介
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
対象となる方	2020 年 7 月から 2024 年 4 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち、心筋遅延造影 CT と心筋遅延造影 MRI を撮影された方 (20 歳以上)
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、生年月日、身長、体重、BMI、既往歴、冠危険因子、血液検査データ、画像データなど
研究の概要 (目的・方法)	現在、人工知能 (AI) を用いた画質改善技術が様々開発されてきています。AI を用いた画質改善技術が応用可能となれば、より正確な画像診断、病態評価が可能となるだけでなく、低被ばくでの撮影につながる可能性があります。そこで、当院の画像を AI を用いて改善できるかを検討します。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院放射線科 小林祐介 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5371